

平成 30 年度第 5 回酒田市地域公共交通会議議事録

(敬称略)

会議名	平成 30 年度第 5 回酒田市地域公共交通会議
開催日時	平成 31 年 1 月 31 日 (水) 11 時 00 分から 12 時 00 分
開催場所	酒田市役所 4 階庁議室 酒田市本町二丁目 2 番 45 号
出席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 17 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田市副市長 矢口明子[会長] ・ 庄内交通株式会社代表取締役社長 村紀明[副会長] ・ 東北公益文科大学学部長 神田直弥[副会長] ・ 庄内交通株式会社専務取締役 本山経一 ・ 一般社団法人山形県バス協会専務理事 小関和夫 ・ 一般社団法人山形県ハイヤー協会酒田支部副支部長 岡部光子 (代理出席) ・ 酒田市自治会連合会会長 阿部建治 ・ 酒田市地区自治会連合会会長 佐藤丈夫 ・ 八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 兵藤清彦 ・ 特定非営利活動法人酒田市障がい者福祉会理事長 佐藤健治 ・ 国土交通省東北運輸局山形運輸支局首席運輸企画専門官 大久保光康 ・ 私鉄庄内交通労働組合書記次長 屋代高志 ・ 酒田警察署交通課交通規制係長 長南新 (代理出席) ・ 庄内総合支庁建設部道路計画課課長補佐 本間直樹 (代理出席) ・ 酒田市建設部長 村上清明 ・ 庄内総合支庁総務企画部総務課連携支援室室長 中村秀毅 ・ 酒田市企画部長 阿部勉 <p>(事務局) 5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域創生部長 永田斉 ・ 商工港湾課港湾交通主幹 千葉清司 ・ 商工港湾課生活交通主査 小野慎太郎 ・ 商工港湾課生活交通係長 成澤直樹 ・ 商工港湾課生活交通係主任 佐藤瞳 <p>(傍聴者) 7 名</p>
欠席者氏名 (敬称略)	<p>(構成員) 4 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松山地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 齋藤吉男 ・ 平田地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 伊藤市太 ・ 酒田市老人クラブ連合会会長 武田正三 ・ 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所道路管理課長 田村正樹
協議題等	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 庄内交通(株)仙台国際空港高速バスと庄内周遊きっぷ (3 日間) 運賃設定について</p> <p>(2) 庄内交通(株)酒田山寺線一部経路変更について</p>

	<p>(3) 「地域公共交通再編計画の方向性について」の見直しについて</p> <p>【協議事項】</p> <p>[議案第1号] 庄内交通(株)酒田市内廻り A・B コースの路線廃止について</p> <p>[議案第2号] 酒田市福祉乗合バス市内循環 C・D 線の路線新設について</p> <p>[議案第3号] 酒田市福祉乗合自動車の名称変更について</p> <p>[議案第4号] 酒田市福祉乗合バス市内循環右回り線及び左回り線の運行内容の変更について</p> <p>[議案第5号] 酒田市福祉乗合バス古湊砂越駅線の運行内容の変更について</p> <p>[議案第6号] 酒田市福祉乗合バス酒田駅かんぼ線の運行内容の変更について</p> <p>[議案第7号] 酒田市福祉乗合バス升田やまゆり荘線、青沢やまゆり荘線、一條循環線、観音寺循環線の運行内容の変更について</p> <p>[議案第8号] 庄内交通(株)停留所名称の変更について</p>
<p>会議の要旨</p>	<p>以下のとおり</p>
<p>【進行】事務局（生活交通係長）</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>平成 28 年 7 月に「酒田市地域公共交通網形成計画」を策定し、平成 29 年の 3 月には「地域公共交通再編計画の方向性について」を定めた。再編案は乗り継ぎを基本にした案だが、昨夏のアンケートで乗り継ぎは非常に抵抗があるという意見が大勢を占めた。運転士不足の問題もあり、良い路線でも運転士がいなければ走らせることができない。ここ 2、3 年で状況が大きく変わっているということが、庄内交通の中でもある。平田地域で昨年路線が廃止され、酒田市内 A・B コースも状況が大きく変わってきている。酒田市としては 2022 年 4 月に駅前の再開発で新しくバスの待合所もできるので、利用して頂けるような路線を検討していきたいと考えている。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(事務局（生活交通係長）)</p> <p>本日の出席者数は、構成員数 21 名中、代理出席を含めて出席者が 17 名、欠席者が 4 名で構成員の過半数の出席が得られた。要綱第 7 条第 2 項の規定のとおり、本日の会議は成立する。</p> <p>要綱第 7 条第 3 項の規定により、ここからは会長より議事進行をお願いします。</p> <p>(矢口会長)</p> <p>本会議の議事録署名は、本山経一委員、阿部勉委員からお願いしたいがよいか。</p> <p>(全委員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(矢口会長)</p> <p>「(1) 庄内交通(株)仙台国際空港高速バスと庄内周遊きっぷ（3日間）運賃設定について」、 「(2) 庄内交通(株)酒田山寺線一部経路変更について」の説明をお願いします。</p> <p>(庄内交通)</p> <p>資料に基づき説明。</p> <p>(矢口会長)</p>	

意見、質問はないか。

(全委員)

なし。

(矢口会長)

「(3) 地域公共交通再編計画の方向性について」の説明をお願いします。

(事務局 (港湾交通主幹))

資料に基づき説明。

(矢口会長)

意見、質問はないか。

(全委員)

なし。

4 協議事項

(矢口会長)

議案第 1 号「庄内交通(株)酒田市内廻り A・B コースの路線廃止について」の説明をお願いします。

(庄内交通)

資料に基づき説明。

(矢口会長)

意見、質問はないか。なければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

議案第 1 号は承認された。

議案第 2 号「酒田市福祉乗合バス市内循環 C・D 線の路線新設について」の説明をお願いします。

(事務局 (港湾交通主幹))

資料に基づき説明。

(矢口会長)

意見、質問はないか。

(神田委員)

資料 8 ページで新橋から日本海総合病院に行くことを考えると、市内循環 C・D 線が新橋 7 時 35 分、10 時 30 分、13 時 45 分、16 時 40 分で、酒田駅かんぼ線が 7 時 34 分、10 時 44 分、13 時 49 分、16 時 54 分となっており、ほぼ時間が同じである。少し時間をずらせば利便性を高めることができるのではないかと。運行日も酒田駅かんぼ線が火木土なので市内循環 C・D 線を月水金にすればよいのではないかと。

(事務局 (港湾交通主幹))

古湊砂越駅線と市内循環 C・D 線がマイクロバスのため、古湊砂越駅線を月水金、市内循環 C・D 線を火木土とした。

(神田委員)

時間も重複しているのもったいない。

(事務局 (港湾交通主幹))

検討したい。

(矢口会長)

ほかになければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

議案第 2 号は承認された。

議案第 3 号「酒田市福祉乗合自動車の名称変更について」の説明をお願いします。

(事務局 (港湾交通主幹))

資料に基づき説明。

(矢口会長)

意見、質問はないか。なければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

議案第 3 号は承認された。

議案第 4 号「酒田市福祉乗合バス市内循環右回り線及び左回り線の運行内容の変更について」の説明をお願いします。

(事務局 (港湾交通主幹))

資料に基づき説明。

(佐藤健治委員)

名称の変更は利用者が勘違いしないようにしてもらいたい。

(事務局 (港湾交通主幹))

地元に十分に周知していきたいと考えている。

(矢口会長)

ほかになければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

議案第 4 号は承認された。

議案第 5 号「酒田市福祉乗合バス古湊砂越駅線の運行内容の変更について」、議案第 6 号「酒田市福祉乗合バス酒田駅かんば線の運行内容の変更について」は関連があるようなので一括して説明をお願いします。

(事務局 (港湾交通主幹))

資料に基づき説明。

(神田委員)

乗車人数が平日 8.4 人、日曜日 3.1 人となっているが、どういう数字か。最初から最後まで

乗車している人の人数か。

(小野主査)

一便当たりの平均乗車人数である。

(神田委員)

途中で乗り降りしても1人とカウントしているのか。

(小野主査)

そうだ。

(矢口会長)

日曜日運行の廃止は利用状況を見て判断するが、ほかになければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

議案第5号及び議案第6号は承認された。

議案第7号「酒田市福祉乗合バス升田やまゆり荘線、青沢やまゆり荘線、一條循環線、観音寺循環線の運行内容の変更について」の説明をお願いします。

(事務局(港湾交通主幹))

資料に基づき説明。

(大久保委員)

経路変更は警察署とは協議済みということだが、道路管理者とは協議済みか。

(事務局(港湾交通主幹))

今後協議する。

→経路変更は道路管理者の了承は不要(1月31日確認)。

(矢口会長)

ほかになければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

議案第7号は承認された。

議案第8号「庄内交通(株)停留所名称の変更について」の説明をお願いします。

(庄内交通)

資料に基づき説明。

(矢口会長)

バス停名はどのように決めているのか。

(庄内交通)

No.1の山容病院前は移転し、住所が高砂だがほかにも高砂というバス停があるため、酒田市と地域と協議してもらって高砂南に設定した。

No.2のグランド前は庄内交通がグランド前、るんるんバスが陸上競技場前となっており、ポピュラーな陸上競技場前とした。

No.3の酒田光陵高校は庄内交通が酒田光陵高校、るんるんバスが光陵高校前となっている

が、鶴岡から来る路線でもあり、酒田とつけた方が遠隔地の方が分かりやすいと考え酒田光陵高校前にした。

No.4のゆたか町はゆたか町という町名はないので、るんるんバスに合わせてゆたか1丁目とした。

No.5の総合文化センターは庄内交通が総合文化センター、るんるんバスは文化センター正面口と文化センター前というバス停がある。るんるんバスに合わせて文化センター正面口とした。

No.6の相生町は庄内交通が相生町、るんるんバスがシルバー人材センター前となっている。るんるんバスで相生町というバス停が別の場所にあるため庄内交通の相生町をシルバー人材センター前とした。

(矢口会長)

ほかに意見がなければ同意してもらえるか。

(全委員)

異議なし。

(矢口会長)

2022年3月の全体の見直しをやる上で色々な制約条件がある。運転手がいいため、労働条件を整えないといけないとか体制的なこともある。酒田市も頑張るが、皆さんからもご協力いただきたい。運転士の問題は、庄内交通、ハイヤー協会ほかの会社もあるが、運転士から酒田にも来てもらい、個別に相談に行きたいとも思っている。庄内交通は路線編成のプロなのでアドバイスなどをいただけたらありがたい。また利用者が増えないとバスはいらないんじゃないかということにもなるので、利用者を増やすために引き続きご協力をいただければありがたい。利用する地域が八幡地域の方も自分たちが乗らないと継続するのは難しいのでご協力いただければありがたい。市街地もなんとか意見を知る機会を作りたいと思い、バス交通ファンクラブを作ったが、蓋を開けてみるとなかなか利用者は入っていない。どうしたら利用者の声を吸い上げることができるか意見をいただきたい。市長からも副市長がトップになってちゃんとやるように言われているので、ぜひ意見をいただければありがたい。

5 その他

(阿部建治委員)

るんるんバスの免許は大型2種免許か。年齢は何歳までか。運転手不足と書いているが、自分の前の会社や親戚に大型免許を持っている人はいた。

(庄内交通)

大型2種免許は必要だ。庄内交通の運転手は、るんるんバスも路線バスもどちらも運転できる運転手である。バス運転手は安全に運行する事のほかに運賃の収受や定刻に運行できるようバス停に停車し、乗降扱いを行うための様々な研修が必要である。ただ大型2種免許がない方でも免許取得費用を庄内交通で助成する制度もある。庄内運転者育成学園で運転手としての基礎を教育し、実際の運行を行える教育を行ってからバスを運行させている。

(阿部建治委員)

私は新町で全6区あるが、毎週日本海病院に行っている人がいる。行く場所は市役所、清水屋、日本海総合病院と決まっている。新町から高砂まで回ってまた戻って来るという路線なの

で、午前と午後一本でも直行便があればよいという話が出た。また、日和山公園、さかた海鮮市場、山居倉庫とか観光客が利用するるんるんバスの路線が欲しいという話が出た。

(矢口会長)

自家用有償旅客運送は大型2種免許を持ってなくても大丈夫だ。講習を庄内運転者育成学園でやっているのだから受ければ安全かと思う。今は白ナンバーだが緑ナンバーにした方が安全性は高いということも聞いている。運転手の確保策については今後もお知恵をいただきたい。

質問の件は2022年3月に路線を見直すことで考えたい。観光客と市民のどちらが優先かということだと市民が優先だ。ここからは私見だが、幹線を結ぶ路線と観光客が多く乗っている路線は庄内交通にやってもらいたい。仙台国際空港庄内周遊きっぷの仙台からのお客さんを酒田にも入れたいので、企画きっぷに酒田も入れてもらいたい。今いただいた意見を参考にしながら再編をやっていきたい。

(事務局(地域創生部長))

今回協議した酒田市に関する部分は、新年度予算と条例改正が伴うので、3月議会で提案し可決をいただければじめて実施ということになるのでご承知おきいただきたい。

6 閉会

(事務局(生活交通係長))


以上をもって本日の酒田市地域公共交通会議を終了する。大変お疲れ様でした。

平成31年1月30日に開催された、平成30年度第5回酒田市地域公共交通会議の議事内容について、上記議事録のとおりであることを確認いたしました。

平成31年2月13日

議事録署名人

酒田市地域公共交通会議委員

赤山 經一 

酒田市地域公共交通会議委員

企画部長 阿部 勉 